

01 文の作り方を覚えよう

英語を勉強しはじめたころに、私があまりわからなかった英語のシステムが、ある日をさかいにわかるようになった、その経験をもとに長沢式英語上達法を考えました。

英語では、まず「だれがどうした」を言います。
すると、疑問が生まれます。
そして、その疑問に答えると英語の並べ方になる、
「英語はキャッチボールだ」の法則



英語を勉強したことがない人でも、私が考えた**英語はことばのキャッチボールだの法則**を使えば、日本語を英語に直すことができます。

たとえば、次のような日本語があるとします。

「私はきのうこの本をここで買いました。」

この日本語を英語に直したいときに、1人2役で会話をしながら英語の並べ方を理解することができます。

「私はきのうこの本をここで買いました。」

私は買いました
〈何を買ったの〉
この本を
〈どこで買ったの〉
ここで
〈いつ〉
きのう

このように、1人2役で会話をするので日本語を英語の並べ方に行うことができます。

もしあなたが、英語の単語を知っていたら、今すぐにでも英語に直すことができます。

ためしに英語に直してみます。

私は買いました	I bought
〈何を〉	
この本	this book
〈どこで〉	
ここで	here
〈いつ〉	
きのう	yesterday

〔英語訳〕 I bought this book here yesterday.

03

冠詞 (a) と定冠詞 (the) の 使い分けを覚えよう

どこにでもある a(an), 1つしかない the の法則

あなたが本屋に行ったとします。そこで、あなたがいきなり「本をください。」と言ったら、店員さんは何と言うでしょうか。たぶん、「何の本ですか。」または「本の名前は何か。」とたずねられるでしょう。

つまり、「本をください。」の本は、いっぱいある本の中の1冊です。特別なものや決まったものではなく、単に1冊の本をさしています。

このように、たくさんある本の中のどれでもよい1冊の本、という日本語を英語であらわしたいときに a を book の前につけるのです。

「これは本です。」をわかりやすく言いかえると、「これはいっぱいある本の中の1冊です。」という意味なので、英語に直すと

• This is a book.
となります。

対して the は「1つしかない」という意味で使うので、「これがその本です。」となります。もっとよくわかる日本文にすると「これが1冊しかない本ですよ。」という意味なので、1つしかないという the を使って英語に直して、

• This is the book.
となるのです。



- トニー君は英語の先生です。
これを、もっとよくわかる日本文に言いかえると、「トニー君はどこにでもいるような英語の先生です。」となることから、次のような英語に直すことができます。
- Tony is an English teacher.

- トニー君は英語の先生の鏡かがみです。
これを、次のような日本文に言いかえるとわかりやすいと思います。「トニー君はどこにでもいるような英語の先生ではありません。」つまり、「トニー君は1人しかいないような英語の先生です。」となる次のような英文になります。
- Tony is the English teacher.

練習問題

次の日本文を英文にしてください。

(1) 私はこの学校の教師です。

〈ヒント〉この学校の at this school

私は教師です+この学校にいる

(2) 私はこの学校の校長です。

〈ヒント〉この学校の of this school 校長 principal (プリンシパル)

私は校長です+この学校にいる

解答と解説

(1) I am a teacher at this school.

(2) I am the principal of this school.

05

疑問文と否定文の
作り方を勉強しよう

主語の次に be 動詞がないときは、必ず動詞がくる法則

- You are busy. (あなたはいそがしい。)
be 動詞
- You walk. (あなたは歩く。)
動詞
- Tony is busy. (トニーはいそがしい。)
be 動詞
- Tony walks. (トニーは歩く。)
動詞



be 動詞の is がくるときと動詞の walks がくるときは、
主語は必ず1人である法則

- Tony is busy. (トニーはいそがしい。)
- Tony walks. (トニーは歩く。)

be 動詞の am、are がくるときと動詞の walk がくるときは、
主語は I、you または 2人以上である法則

- I am busy. (私はいそがしい。)
- We are busy. (私たちはいそがしい。)
- You are busy. (あなた [たち] はいそがしい。)
- I walk. (私は歩く。)
- We walk. (私たちは歩く。)
- You walk. (あなた [たち] は歩く。)



英文は、be 動詞タイプと、動詞タイプに分かれる法則

〔be 動詞タイプ〕

私はいそがしい。

I am busy.

あなたはいそがしい。

You are busy.

トニーはいそがしい。

Tony is busy.

私たちはいそがしい。

We are busy.

〔動詞タイプ〕

私は歩く。

I walk.

あなたは歩く。

You walk.

トニーは歩く。

Tony walks.

私たちは歩く。

We walk.

日本文の中に動詞(体の一部が動いて最後がウの段で
終わるもの)があるときは、動詞タイプである法則

- 私は歩く。一足が動く
aruku
- 私は走る。一足が動く
hashiru
- 私は食べる。一口が動く
taberu



このことから、歩く walk [ウォークツ]、走る run [ウランヌ]、食べる eat [イー
トゥツ] は動詞であることがわかります。

練習問題

〔1〕 次の英語を否定文と疑問文にしてください。

(1) You are busy. (あなたは忙しい。)

(否定文) _____

(疑問文) _____

(2) Tony walks. (トニーは散歩します。)

(否定文) _____

(疑問文) _____

(3) You walk. (あなたは散歩します。)

(否定文) _____

(疑問文) _____

解答と解説

(1) (否定文) You are not [aren't] busy.

(疑問文) Are you busy?

(2) (否定文) Tony does not [doesn't] walk.

(疑問文) Does Tony walk?

(3) (否定文) You do not [don't] walk.

(疑問文) Do you walk?

〈語句解説〉

are not = aren't [アーントゥツ]

does not = doesn't [ダズントゥツ] do not = don't [ドゥントゥツ]

〔2〕 次の英語を否定文と疑問文にしてください。

You can swim. (あなたは泳げる。)

(否定文) _____

(疑問文) _____

解答と解説

(否定文) You can not [cannot/can't] swim.

(疑問文) Can you swim?

can not には3種類の書き方があります。

(読み) can't [キアントゥツ]

〔3〕 次の () に正しい動詞、または be 動詞の変化を書いてください。

(1) Naomi (). (直美さんは散歩します。)

(2) I (). (私は散歩します。)

(3) We () busy. (私たちは忙しい。)

(4) Naomi () busy. (直美さんは忙しい。)

(5) Tony can (). (トニー君は泳げます。)

解答と解説

(1) walks (2) walk (3) are (4) is (5) swim

(注意) can は助動詞なので、動詞には s をつけられません。

〔4〕 次の英語を日本語に直してください。

(1) I do swim.

(2) I AM busy.

解答と解説

(1) 私は本当に泳ぎます。[私が泳ぐのは本当ですよ。]

(2) 私は本当に忙しい。[私が忙しいのは本当ですよ。]

I am の AM が大文字にしてあるのは、強調していることを伝えるためです。